

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	病院群輪番制病院運営補助事業	会計	一般会計	事業No.	263	施策順No.	32-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	4-1-1-15-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	32 医療の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①郡市民 ②受入れ医療機関							A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		飯田市及び下伊那郡の住民(人口)		171966	170577	169303	173000		
		二次医療対応の医療機関数(飯田下伊那地区)		8	8	8	8		
意図	急病になった時(特に重篤な症状)に医療がスムーズに受けられ安心して生活ができる								
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度	
	輪番当番医療機関数(下伊那郡)	2	2	2	2	2	2	A	
	輪番当番医療機関数(飯田市)	6	5	5	5	5	5		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	予定した医療機関により、必要な二次医療対応が行われ、その目的を十分達成した。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	救急医療体制の一貫として、休日・祝祭日・夜間・土曜午後の重篤な患者(第二次医療)対応として8医療機関(内、郡では2医療機関)が当番で診療対応している。 全体計画は地区包括医療協議会で調整策定され、14市町村の負担金により運営している。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	飯伊医療圏における病院群輪番担当単位数 参加病院名 夜間内科 夜間外科	輪番実施医療機関数(医療機関)	7機関
	(1) 飯田市立病院 13 13 (2) 飯田病院 3 3 (3) 輝山会記念病院 6 6 (4) 健和会病院 3 3 (5) 下伊那赤十字病院 3 2 (6) 慶友整形外科 0 4 (7) 下伊那厚生病院 3 0		
23年度実施計画	飯伊医療圏における病院群輪番担当単位数 参加病院名 夜間内科 夜間外科	輪番実施医療機関数(医療機関)	7機関
	(1) 飯田市立病院 13 13 (2) 飯田病院 3 3 (3) 輝山会記念病院 6 6 (4) 健和会病院 4 4 (5) 下伊那赤十字病院 3 2 (6) 慶友整形外科 0 4 (7) 下伊那厚生病院 3 0		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他	8,366	8,366	8,527		
一般財源		23,974	23,974	23,918		
計(A)		32,340	32,340	32,445		
正規職員所要時間			80			
臨時職員等所要時間			50			
人件費計(B)			340			
トータルコスト A+B			32,680			

(そ) 諸収入(飯伊地区包括医療協議会、町村負担金)

4 事業に対する市民や議会の意見

大きな病院に、一次・二次医療とも集中する傾向があるため、待ち時間が長い。 医師からは、一次・二次のすみわけのための周知の必要性が言われている。輪番日の医療機関に患者が集中する傾向がある。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	医療が必要な人が必要な医療を受けられる。	施策の成果指標又はムトス指標	かかりつけ医を持つ市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	休日・祝祭日・夜間・土曜午後の救急医療の領域の内、重篤な患者(第二次医療)に対応する体制を確保することで、必要な医療を受けられるようにしてきた。		
	後期に向けた課題	引き続き、休日・祝祭日・夜間・土曜午後の救急医療での領域を充実させるために、重篤な患者(第二次医療)に対応する体制整備が必要である。		必要な医療が受けられていると感じる市民の割合
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	市民に、かかりつけ医を持っていただき、一次医療と二次医療を区別していく。		
	後期に向けた課題	現状では医師不足などにより、輪番制病院を増やすことは難しい。 輪番制の医療機関の数が、現在よりも減らないようにする。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	当番日に待機する医療スタッフは必要であり、事業費を下げると、病院側スタッフの確保が出来なくなる。		
	後期に向けた課題	当番医師の待機料等を据え置いて、現体制を続けていけるかが課題。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	輪番の利用者は郡市民である。飯田市と町村との利用者数に基づく率により、郡内町村から負担金を徴収している。		
	後期に向けた課題	引き続き、飯田市と町村との利用者数に基づく率により、郡内町村から負担金を徴収する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	① 飯伊地区包括医療協議会 - 当番の調整 輪番担当病院 - 当番医配置 ② 包括医療協議会及び三師会との調整		
	後期に向けた課題	今後も、休日・祝祭日・夜間・土曜午後の救急医療の、重篤な患者(第二次医療)に対応する体制整備が必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯伊地区包括医療協議会及び三師会を中心とした体制により、休日・祝祭日・夜間・土曜午後における救急医療(二次医療)の領域を確保してきた。		
	後期に向けた課題	今後も現在の体制を維持していくために、必要な調整を行う。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--